

2005年7月26日

LEXUS、開業に伴い新型のGS・SC・ISを発表

LEXUSは、2005年8月30日に日本で開業し、同日より新型GS*1・SC*2を発売、9月28日より新型IS*3を発売する。

1989年に北米で創設し、その後、欧州やアジアなど世界に展開してきた「レクサスブランド」は、日本での開業を機に、「高級の本質」を常に追求し、「個性」や「プレミアム感」を重視するお客様の拡大に対応する、「グローバルプレミアムブランド」の確立を目指していく。

LEXUSがブランドの理念として掲げる「高級の本質の追求」とは、「最高の商品」を「最高の販売・サービス」で提供し、お客様がレクサスと共に過ごすいかなる瞬間も「“ときめき”と“やすらぎ”に満ちた最高の時間」とするために、開発・生産・販売の全ての面で妥協のない取り組みを続けることである。

商品開発においては、レクサス独自のデザインフィロソフィ『L-finesse*4(エル・フィネス)』を掲げるとともに、全てのレクサス車に共通する、Advanced(先進)などの五つの開発キーワード『I.D.E.A.L.(アイディアル)*5』を定めている。

そして、数値性能から感性品質に至る約500項目に及ぶレクサス独自の商品化基準『レクサスMUSTs(マスト)』にそって、プレミアムブランドにふさわしい卓越した商品性とレクサスブランドとしての統一性、独自の魅力の付与を追求している。

こうして開発した今回の新モデルは、GSが、走りのパフォーマンスはもとより感性の領域に至るまで「新しいプレミアム価値の提供」を追求したグランドセダン、SCは、「レクサスの華」をテーマに極限の美しさを追求したスポーツクーペ、ISは、「感動と快感の走り」をテーマにドライビングを愉しむための走りを追求したインテリジェントスポーツセダン、と位置づけている。

なお、2006年には、春にGSにハイブリッドシステムを搭載したGS450h、年内にフラッグシップセダンとなるLSの導入を予定している。

また、販売・サービスは、レクサスのみを扱う143店舗のネットワークを8月30日に立ち上げ、年内には151店舗の体制とする。統一されたデザインの店舗では、独自の研修を受講した約2,000名の専任のスタッフがお客様を迎え、レクサスライフを最高の時間とするための「レクサストータルケア」など独自のプログラムと併せて、商談(コンサルティング)から納車・整備に至る全てのステップにおいて、常に、おもてなしの心で期待を上回る満足の提供を目指す。

- *1 GS:Grand Sedan *2 SC:Sports Coupe *3 IS:Intelligent Sports Sedan
 *4 L-finesse: Leading-Edge(先鋭)とFinesse(精妙)を組み合わせた造語。「先鋭-精妙の美」の意。
 *5 Impressive(印象的)・Dynamic(動的)・Elegant(優雅)・Advanced(先進)・Lasting(普遍)



GS430<オプション装着車>



SC430<オプション装着車>



IS350<オプション装着車>

【販売概要】

1. 販売店 : 全国のレクサス店
2. 発売開始時期 : GS・SC 8月30日
IS 9月28日
3. 月販目標台数 : GS 1,100台
SC 100台
IS 1,800台
4. 店頭発表会 : LEXUS DEBUT EXPO 8月30日～9月11日
IS DEBUT SHOW 9月28日～10月2日

【生産工場】

- GS トヨタ自動車(株) 田原工場
SC 関東自動車工業(株) 東富士工場
IS トヨタ自動車(株) 田原工場/トヨタ自動車九州(株) 宮田工場

【メーカー希望小売価格】

(北海道のみ価格が異なる。単位：円)

		エンジン	駆動	トランスミッション	価格*1・*2 (消費税込み)		
GS430		3UZ-FE V8・4.3ℓ	FR	6Super ECT*4	6,300,000	◎	
GS350		2GR-FSE V6・3.5ℓ			AWD*3	5,200,000	
			5,600,000				
SC430		3UZ-FE V8・4.3ℓ	FR		6,800,000	◎	
IS350	“version L”	2GR-FSE V6・3.5ℓ			FR	4,800,000	◎
	“version S”					5,250,000	
IS250		4GR-FSE V6・2.5ℓ			AWD	3,900,000	
	“version L”					4,350,000	
	“version S”					4,050,000	
	“version L”					4,250,000	
					4,700,000		

◎：掲載写真（除くオプション）

- *1 北海道は、GS430が18,900円高、GS350が25,200円高、SC430が1,050円高、IS350・IS250が23,100円高。
*2 価格にはリサイクル料金は含まれない。
*3 AWD (All Wheel Drive)
*4 6 Super ECT：スーパーインテリジェント6速オートマチックトランスミッション

【車両寸法等】

(単位：mm)

	全 長	全 幅	全 高	ホイールベース
GS430・GS350	4,830	1,820	1,425* ¹	2,850
SC430	4,535	1,825	1,355	2,620
IS350・IS250	4,575	1,795	1,430* ²	2,730

*1 AWDは1,435mm

*2 17インチタイヤ装着FR車。18インチタイヤ装着FR車は1,435mm。AWD車は1,445mm

【車両概要】

《GS》

▽「L-finesse」に基づきGSの個性を表現したデザイン

- ・独自のロングキャビンプロポーションと造形のコントラストを追求したダイナミックかつエレガントなエクステリア
- ・シンプルでありながら深みのある造形ともてなしの演出にこだわったインテリア

▽卓越した基本性能を実現するパワートレーン・シャシー

- ・V8ならではのトルクフル、かつ洗練された走行感覚を堪能できるV8・4.3ℓ 3UZ-FEエンジン
- ・高い動力性能と低燃費・低エミッションを両立した新開発V6・3.5ℓ 2GR-FSEエンジン
- ・滑らかな変速フィールとスポーティな操作性を実現した6SuperECT & シーケンシャルシフトマチック
- ・ハンドルの操作量とタイヤの切れ角の関係をフレキシブルに変化させることができるVGRS*¹ [GS430に標準装備]
- ・上質な乗り心地、安定した旋回性能を支える電動式のアクティブスタビライザーサスペンションシステム<世界初*³> [GS430にオプション設定]
- ・確かな効き、コントロール性、剛性感を追求した高性能ブレーキ

▽主な先進装備

- ・運転を支援するレーンキーピングアシスト [GS430にオプション設定]、レーダークルーズコントロール [全車にオプション設定]
- ・最大2,000曲をHDD*⁴に録音できるサウンドライブラリー機能、渋滞予測を織り込んだ経路案内などの最新サービスを含むG-Linkに対応し、高機能化させたHDDナビゲーション
- ・最先端のテレマティクスサービスG-Link (ヘルプネット、G-Security対応)

▽高次元の安全・環境性能

- ・パワー(駆動力)・ステアリング・ブレーキを統合制御し車両姿勢を安定させる従来のVDIM*²に、VGRSを用いて、前輪の切れ角を最適に制御するアクティブステアリング機能を新たに統合し、高い予防安全性の確保と理想的な車両運動性能を実現する進化したVDIM (アクティブステアリング統合制御) <世界初*³> [GS430に標準装備]
- ・前面衝突の危険を警告し、衝突時の被害軽減を図るプリクラッシュセーフティシステム [緊急ブレーキ連動方式を標準装備。ミリ波レーダー方式はオプション設定]
- ・先行車に対し、自車の減速度を緩やかなブレーキ制御によりコントロールすることで、運転支援・予防安全に寄与するDABC*⁵<世界初*³> [GS430にオプション設定]
- ・全車「平成17年基準排出ガス75%低減レベル*⁶」の認定を取得
- ・LCA(ライフサイクルアセスメント)を実施し、生産から走行・廃棄までの全段階で排出するCO₂や大気汚染物質の総量を低減するなど、トヨタ自動車(株)(以下トヨタ)独自の環境評価システム「Eco-VAS (エコパス)*⁷」を活用し、効率的に環境負荷を低減

※GS450h (2006年春導入予定)

- ・V6・3.5ℓ エンジンと高性能のモーターを組み合わせた新開発のハイブリッドシステムを搭載予定

《SC》

▽「L-finesse」に基づきSCの個性を表現したデザイン

- ・クローズド・オープンともに、流麗なエクステリアと華を演出したインテリア

▽卓越した基本性能を実現するパワートレイン・シャシー

- ・V8ならではのトルクフル、かつ洗練された走行感覚を堪能できるV8・4.3ℓ 3UZ-FEエンジン
- ・滑らかな変速フィールとスポーティな操作性を実現した6SuperECT &シーケンシャルシフトマチック
- ・自然なペダルフィールで期待通りに、常に安定した制動性能を発揮するブレーキ

▽主な先進装備

- ・テレマティクスサービスG-Link

▽環境性能

- ・「平成17年基準排出ガス75%低減レベル」の認定を取得
- ・LCAを実施し、生産から走行・廃棄までの全段階で排出するCO₂や大気汚染物質の総量を低減

《IS》

▽「L-finesse」に基づきISの個性を表現したデザイン

- ・塊の凝縮感から生まれるパワーと、走りを予感させるワイドなスタンスを表現したエクステリア
- ・日本の美意識を織り込み、サイズを超えた豊かさと奥深さを創出したインテリア

▽卓越した基本性能を実現するパワートレイン・シャシー

- ・高い動力性能と低燃費・低エミッションを両立した新開発V6・3.5ℓ 2GR-FSEエンジン
- ・軽快でバランスの良い走りを実現したV6・2.5ℓ 4GR-FSEエンジン
- ・滑らかな変速フィールとスポーティな操作性を実現し、操る喜びを高める6SuperECT &シーケンシャルシフトマチック（ステアリングパドルシフター付）
- ・確かな効き、コントロール性、剛性感を追求した高性能ブレーキ

▽主な先進装備

- ・運転を支援するレーダークルーズコントロール [全車にオプション設定]
- ・最大2,000曲をHDDに録音できるサウンドライブラリー機能、渋滞予測を織り込んだ経路案内などの最新サービスを含むG-Linkに対応し、高機能化させたHDDナビゲーション
- ・最先端のテレマティクスサービスG-Link（ヘルプネット、G-Security対応）

▽高次元の安全・環境性能

- ・高い予防安全性の確保はもとより、理想的な車両運動性能を実現したVDIM [IS350に標準装備]
- ・前面衝突の危険を警告し、衝突時の被害軽減を図るプリクラッシュセーフティシステム [ミリ波レーダー方式を全車にオプション設定]
- ・エアバッグをふたつの袋形状とすることで、中央部にくぼみを設け、展開直後に助手席乗員を頭・肩などの多面で受け止め、乗員への荷重を分散させることを狙いとし、人体への負担軽減を追求したSRS*⁸ツインチャンバーエアバッグ<世界初*³>
- ・全車「平成17年基準排出ガス75%低減レベル」の認定を取得するとともに、IS250・FR車は「平成22年度燃費基準*⁹+5%」を、IS250・AWD車は「平成22年度燃費基準」を達成
- ・LCAを実施し、生産から走行・廃棄までの全段階で排出するCO₂や大気汚染物質の総量を低減するなど、トヨタ独自の環境評価システム「Eco-VAS」を活用し、効率的に環境負荷を低減

*1 Variable Gear Ratio Steering

*2 Vehicle Dynamics Integrated Management

*3 2005年6月現在。トヨタ調べ

*4 Hard Disc Drive

*5 Driver-assist Braking Control

*6 国土交通省の低排出ガス車認定制度

*7 Eco-Vehicle Assessment System（トヨタ独自の総合的環境評価システム）

*8 SRS: Supplemental Restraint System（乗員保護補助装置）

*9 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準

以上